



実践校が取り組み紹介

小中高の授業に新聞を活用した実例や成果を紹介する「NIE実践報告会」が25日、名古屋市中区の中日新聞社であった＝写真。県内のNIE実践指定校のうち、2年目の11校が発表した。

(福沢英里)



県教育委員会や報道各社等で行く県NIE推進協議会の主催。教員ら百十人が参加した。

名古屋市大宝小の森山勇二教諭は三年生の社会科で新聞を活用した。「名古屋の魅力度が最下位」と伝える記事を示し、「魅力ある町になるためにはどうしたらいいか」といった課題を設定。学区内のスーパーや工場など限定的な場所の見学

で終わらせず、市の魅力を見つめ直す学習に発展させた。商業施設「ららぽーと名古屋みなとアクルス」の開業や名古屋城本丸御殿の復元などを伝える記事も参考に「人が集まる場所も魅力の一つ」と引き出した。

休み時間に生徒が読めるよう、廊下の掲示板に教員が記事を張る「いつでもどこでもNIE」を進める豊橋市章南中や、自分たちが住む地域への関心を高めるため地域新聞作りに取り組んだ豊田市朝日丘中の報告もあった。

協議会長の土屋武志愛知教育大教授は「報告を聞き、NIEは楽しいものと受け止めた。ぜひ先生が楽しんでやってほしい」と講評した。